

学術の森

<310>



修学基礎教育課程

にしむらひでお
西村秀雄教授

自分の知識や考えを押しつけないよう気を配り、教師の役割を「学生の眠っている才能を呼び起こすこと」と話す。すべての講義でアンケートなどを用いて講義の感想や気付いた点とともに学生に記入を求めている。集まつた学生の

眠る才能呼び起こす

反応には、多忙であろうとその日のうちにホームページ上にコメントを記載するなど学生との対話を重視する。社会と科学技術の関係を体と血液に例え、現代人は、生活の隅々まで行き渡ったなくてはならないものとして科学

に依存していると指摘。科学技術を駆使する技術者が社会に及ぼす影響を考える必要性を説く。新潟県出身。新潟大卒。49歳。

金沢工業大学